

# 2024年3月期決算概要

日進工具株式会社

2024年5月13日  
(証券コード6157)

# 目次

## 1. 2024年3月期の業績

P. 3	・・・	決算の概要
P. 4	・・・	営業利益の減益要因
P. 5	・・・	損益計算書サマリー
P. 6	・・・	貸借対照表サマリー
P. 7	・・・	業績推移

## 2. 2025年3月期の業績予想

P. 14	・・・	業績予想
P. 15	・・・	設備投資と減価償却費のトレンド
P. 16	・・・	配当予想

## 参考資料

P. 18	・・・	日進工具の概要
P. 19	・・・	沿革・業績推移
P. 20	・・・	当社製品とその市場について
P. 29	・・・	コーポレートガバナンスの体制
P. 31	・・・	株式の状況
P. 32	・・・	主要データ推移・投資指標
P. 34	・・・	株価推移とバリュエーション
P. 35	・・・	IR情報サイト/ ニュースメール登録のご案内

# 2024年3月期の業績



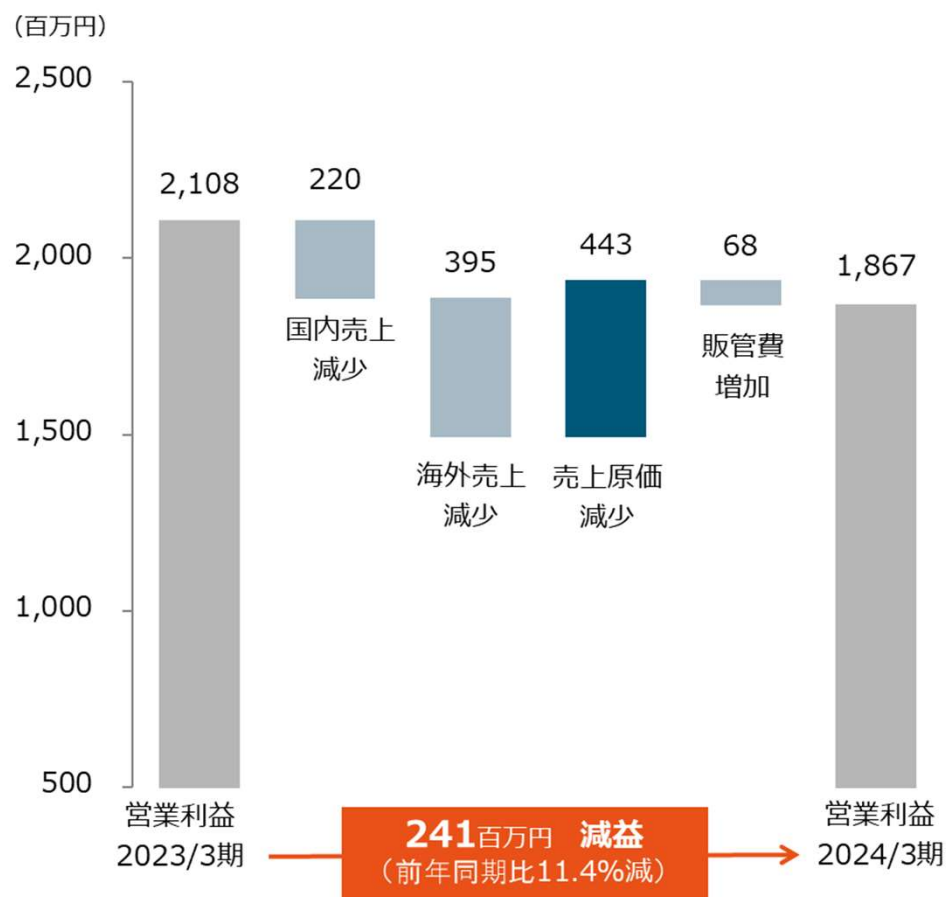
# 決算の概要

前期に比べ減収、減益も通期業績予想は達成

(単位：百万円)	通期予想	2024年3月期 通期実績	予想対比
<b>売上高</b>	9,000	9,040	40
前期比	-6.8%	-6.4%	+0.4%
<b>営業利益</b>	1,600	1,867	267
前期比	-24.1%	-11.4%	+16.7%
<b>経常利益</b>	1,610	1,908	298
前期比	-24.5%	-10.5%	+18.6%
<b>当期純利益</b>	1,100	1,320	220
前期比	-25.4%	-10.5%	+20.0%

- 自動車関連は半導体や部品不足の解消により生産台数の持ち直しが見られたものの、金型向けの工具需要の回復には遅れが見られた。半導体や電子部品・デバイス関連も、全体的に低調に推移。特に中華圏向けが低迷した。
- 連結売上高は9,040百万円と、前期比6.4%の減少となった。
- 連結営業利益は1,867百万円と同11.4%の減少、連結経常利益は1,908百万円と同10.5%の減少。
- 売上高営業利益率は20.7%、売上高経常利益率は21.1%となった。

## 営業利益の減益要因



- 売上高は国内が前期比220百万円、3.4%の減少、海外が同395百万円、12.7%の減少となり、売上高全体では同616百万円、6.4%減少した。
- 販売減少に伴い、生産量を絞ったことにより、材料費・外注費をはじめ製品製造原価が減少。売上原価は同443百万円、9.8%の減少となり、売上総利益率は54.7%となった。
- 販売費は前期比微減の一方、賃上げの影響に伴い人件費が同3.0%増加。販管費全体では同68百万円、2.3%の増加となった。
- これらの結果、営業利益は同241百万円、11.4%減少の1,867百万円、売上高営業利益率は20.7%と前期の水準を1.1ポイント下回った。

# 損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	前期比
売上高	9,656	9,040	-6.4%
売上総利益	5,115	4,942	-3.4%
対売上高比率	53.0%	54.7%	
販管費	3,007	3,075	+2.3%
対売上高比率	31.1%	34.0%	
営業利益	2,108	1,867	-11.4%
対売上高比率	21.8%	20.7%	
経常利益	2,131	1,908	-10.5%
対売上高比率	22.1%	21.1%	
当期純利益	1,475	1,320	-10.5%
対売上高比率	15.3%	14.6%	
設備投資額	686	563	-18.0%
減価償却費	669	627	-6.3%
従業員数	352人	350人	-0.6%

- 売上高は9,040百万円と前期比6.4%の減少。景気は緩やかに回復しているものの、工具需要は大きくは改善せず。特に海外販売の不振が響き、減収となった。
- 売上総利益は4,942百万円と同3.4%減少したが、売上原価が売上高の減少率を超える同9.8%の減少となったため、売上総利益率は54.7%と同1.7ポイント上昇した。
- 販管費は人件費の増加等に伴い、同2.3%増加、売上高販管費比率は34.0%と同2.9ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同11.4%減の1,867百万円、売上高営業利益率は20.7%と、同1.1ポイント低下。
- 設備投資額は、生産量減少に伴う設備計画のずれ込みにより、当初計画が未達となったことから、同18.0%減の563百万円となった。これに伴い、減価償却費は同6.3%の減少となった。

# 貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2023年 3月期末	構成比	2024年 3月期末	構成比	前期末比
<b>(資産の部)</b>					
I 流動資産	12,298	65.2%	12,719	66.1%	+3.4%
現金及び預金	8,497	45.1%	8,893	46.2%	+4.7%
受取手形及び売掛金	1,355	7.2%	1,305	6.8%	-3.7%
棚卸資産	2,320	12.3%	2,381	12.4%	+2.6%
II 固定資産	6,559	34.8%	6,521	33.9%	-0.6%
有形固定資産	5,412	28.7%	5,361	27.9%	-0.9%
無形固定資産	28	0.2%	24	0.1%	-12.3%
投資その他の資産	1,118	5.9%	1,135	5.9%	+1.5%
<b>資産合計</b>	<b>18,857</b>	<b>100.0%</b>	<b>19,241</b>	<b>100.0%</b>	<b>+2.0%</b>
<b>(負債の部)</b>					
I 流動負債	1,432	7.6%	1,287	6.7%	-10.1%
買掛金	303	1.6%	173	0.9%	-43.0%
II 固定負債	224	1.2%	224	1.2%	-
<b>負債合計</b>	<b>1,657</b>	<b>8.8%</b>	<b>1,512</b>	<b>7.9%</b>	<b>-8.7%</b>
<b>(純資産の部)</b>					
<b>自己資本合計</b>	<b>16,984</b>	<b>90.1%</b>	<b>17,525</b>	<b>91.1%</b>	<b>+3.2%</b>
<b>純資産合計</b>	<b>17,200</b>	<b>91.2%</b>	<b>17,729</b>	<b>92.1%</b>	<b>+3.1%</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>18,857</b>	<b>100.0%</b>	<b>19,241</b>	<b>100.0%</b>	<b>+2.0%</b>

## 流動資産

設備投資額が減少したため現金及び預金が増加し、前期末比3.4%増加。

## 固定資産

有形固定資産が微減、投資その他の資産が微増によりほぼ横ばい。

## 負債

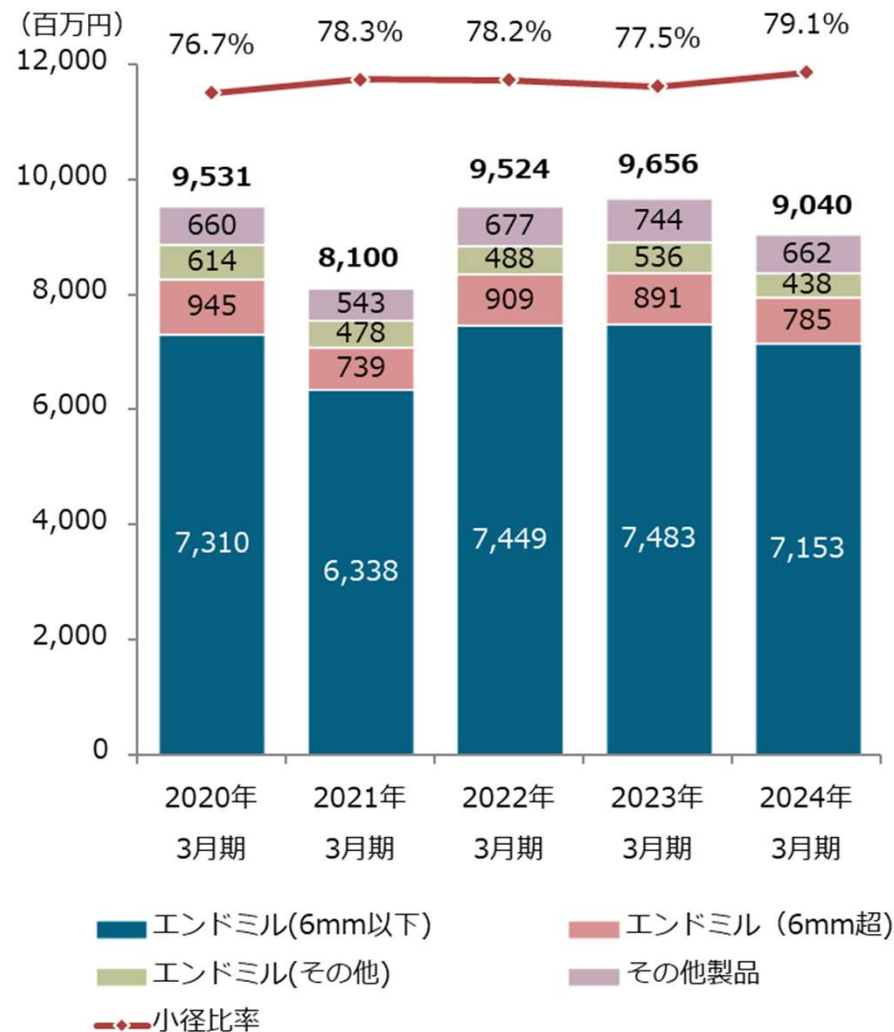
買掛金や未払法人税等の減少等により、同8.7%減少。

## 純資産

利益剰余金の増加等から、同3.1%増加。自己資本比率は91.1%と同1.0ポイント上昇。

# 業績推移（売上高の推移①） 製品別

製品別売上高と小径比率の推移

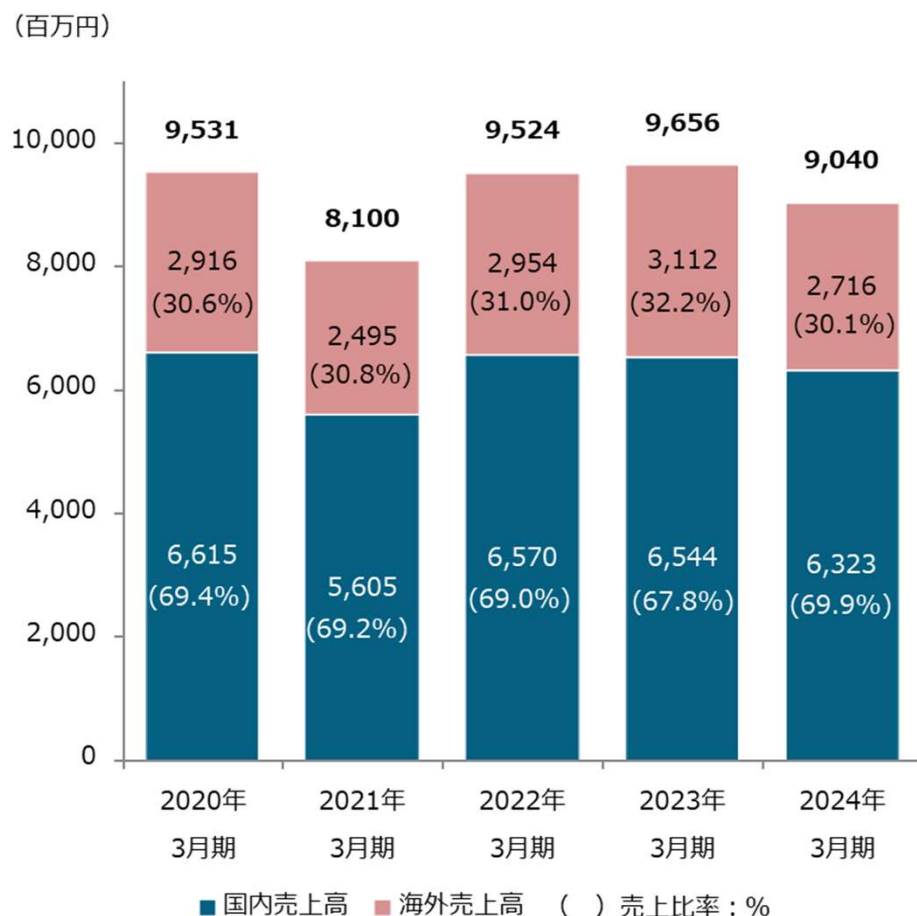


- 自動車関連は半導体や部品不足の解消に伴い、下期にかけて生産台数の持ち直しが見られたが、認証不正問題の影響もあり、工具需要は大きくは回復しなかった。半導体や電子・デバイス関連は、完成品であるPCやスマートフォンの需要減速に伴う在庫調整により、全体的に低調となった。連結売上高は9,040百万円と前期比6.4%減少した。
- 主力のエンドミル（6mm以下）は前期比4.4%の減少、刃径の大きいエンドミル（6mm超）は同11.9%の減少、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同18.2%の減少となった。また工具ケース等のその他も同11.1%の減少。小径比率は同1.6ポイント上昇し79.1%。



## 業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

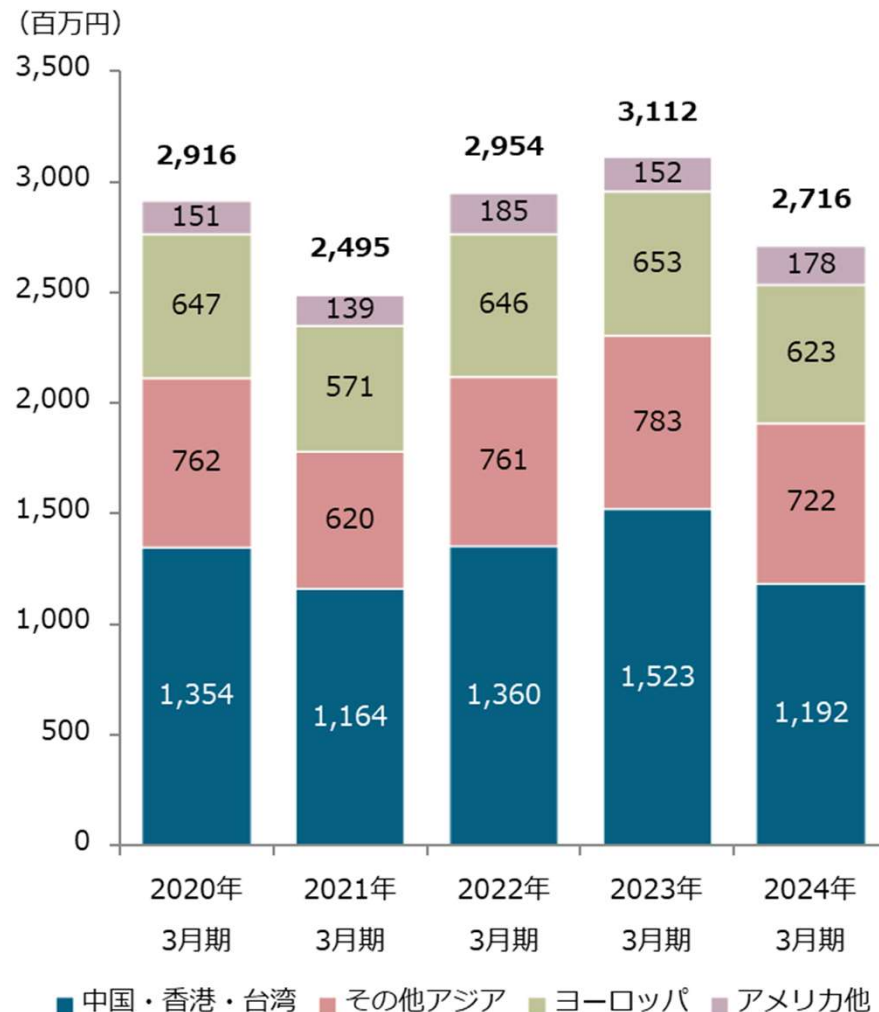
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前期比220百万円、3.4%減少し6,323百万円となった。海外売上高は同395百万円、12.7%減少し2,716百万円であった。
- 海外売上高は、特に中華圏とアジアでの販売減少が響き、大きな落ち込みとなった。
- 海外売上高比率は前期比2.1ポイント低下し30.1%。

## 業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

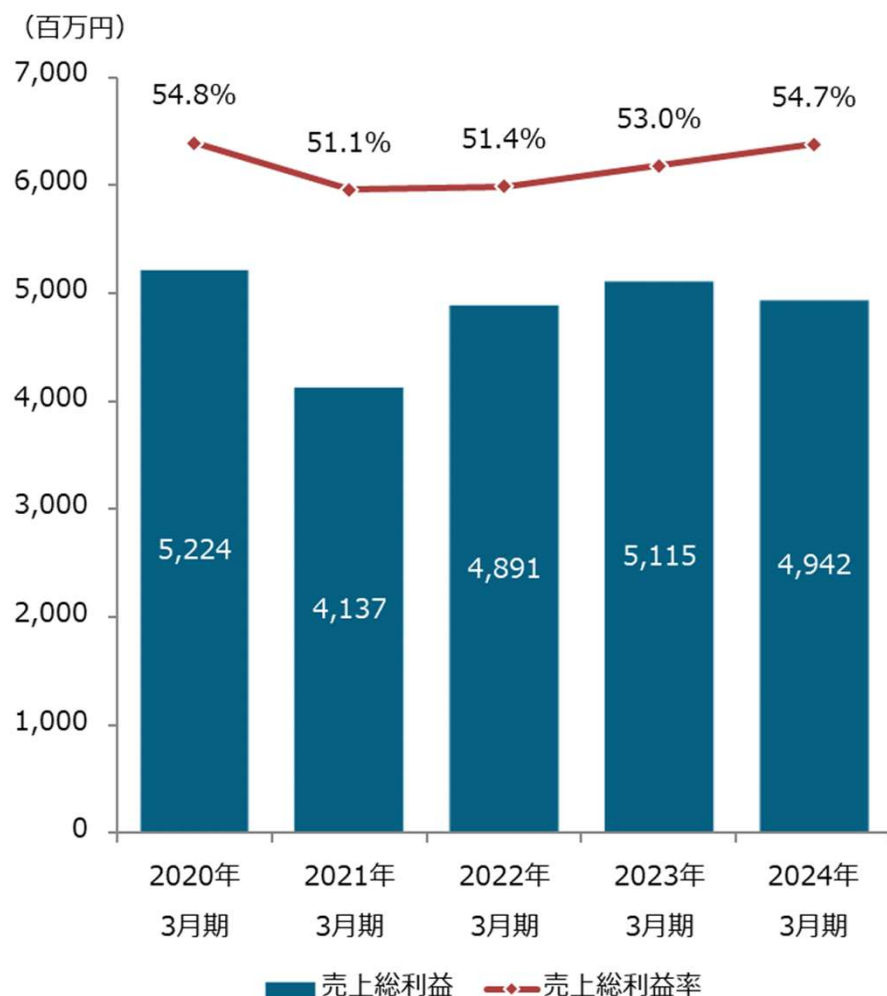
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は中国経済の減速により市況の悪化が継続、前期比21.7%減少の1,192百万円。チャイナリスク回避の動きにより、中華圏から東南アジアやインド、日本等への生産移管が進んでいる。なお、日進工具香港の連結にからみ中国向けの数字は1-12月分。
- その他アジアは同7.7%減少の722百万円。東南アジアでは引き続き自動車関連が不調となっている。
- ヨーロッパは同4.6%減少の623百万円。インフレやエネルギー価格の高騰により景気停滞が継続。特に自動車関連の不振の影響を大きく受けた。
- アメリカ他は同17.3%増加の178百万円。アメリカとメキシコの現地取引をすべて日進工具からNS TOOL USA経由に変更。主要代理店と総代理店契約を締結し、販売体制の強化を狙う。

## 業績推移（売上総利益の推移）

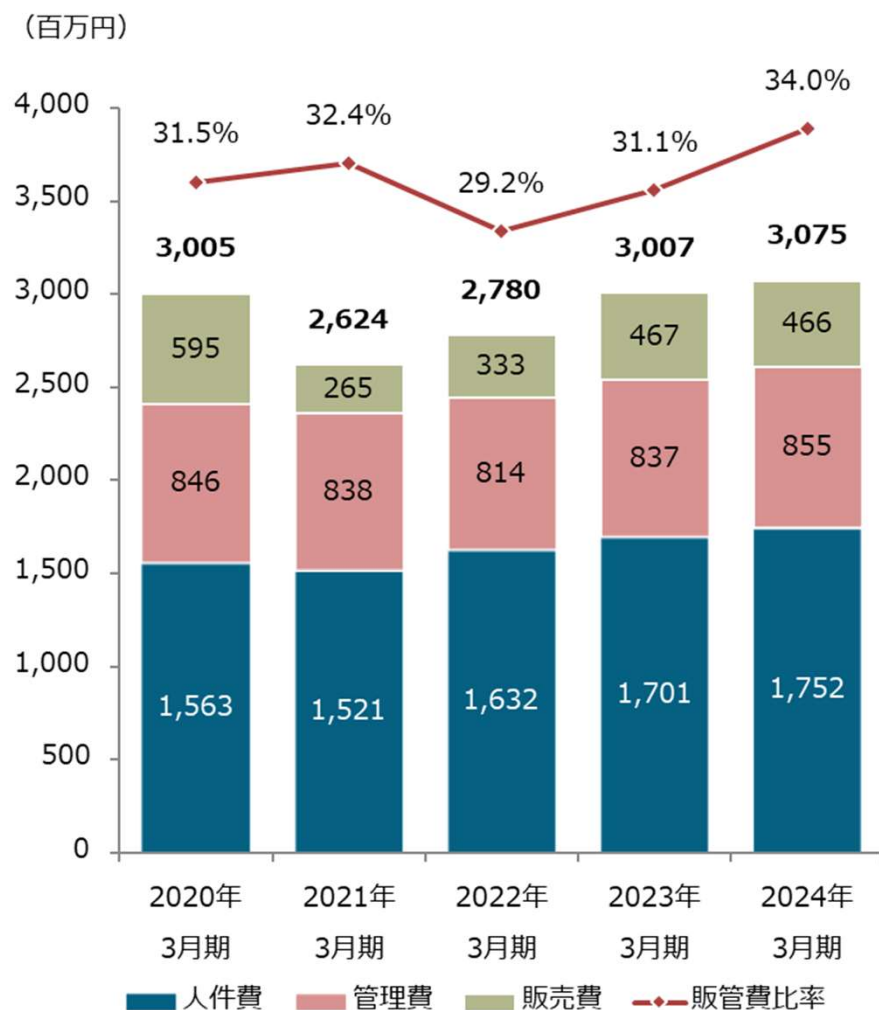
売上総利益と売上総利益率の推移



- 販売減少に伴い生産量を絞ったこと、及び原価低減の継続的な取り組みにより、材料費は前期比14.4%減少、外注加工費は同17.9%減少、労務費は同1.8%減少した。製造経費も製造減価償却費の減少等により全体的に抑えられた結果、同8.7%減少した。
- 当期製品製造原価が減少したことにより売上原価は同9.8%減少した。
- 売上高減少により売上総利益は4,942百万円、同3.4%減少したものの、売上原価の減少や2022年11月受注分からの値上げも寄与し、売上総利益率は54.7%と同1.7ポイント上昇した。

## 業績推移（販管費の推移）

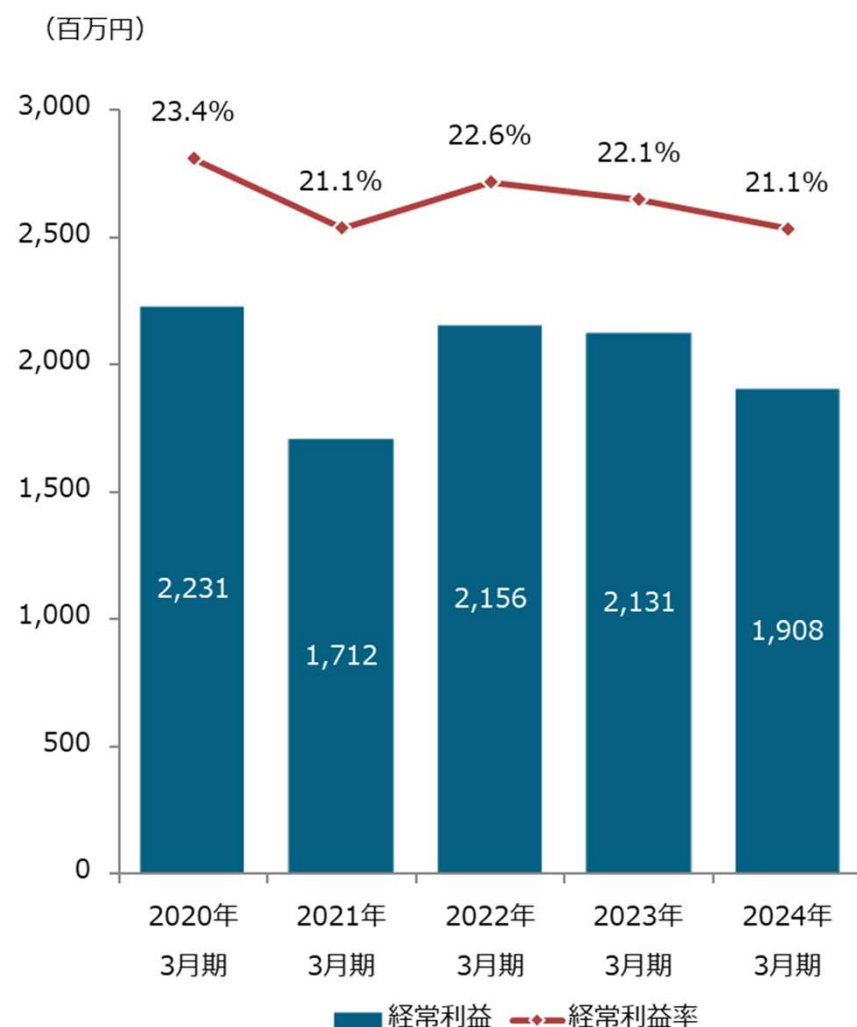
販管費と販管費比率の推移



- 販売費は、466百万円となり、前期とほぼ横ばい。営業活動再開により国内外の出張旅費が増加した一方で、前期嵩んでいたカタログ改訂費用が今期は発生しなかったため広告宣伝費が減少した。
- 人件費は、従業員給与や賞与引当金の増加等から前期比3.0%増加の1,752百万円。
- 販管費全体では同2.3%増加の3,075百万円となり、売上高販管費比率は34.0%と同2.9ポイント上昇した。

## 業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 営業利益は売上高の減少と販管費の増加等により1,867百万円、前期比11.4%減少。売上高営業利益率は20.7%と同1.1ポイント低下。
- 営業外損益では作業くず売却益等により営業外収益が営業外費用を41百万円上回った。経常利益は1,908百万円と同10.5%減少。
- 売上高経常利益率は21.1%と同1.0ポイント低下。

# 2025年3月期の業績予想



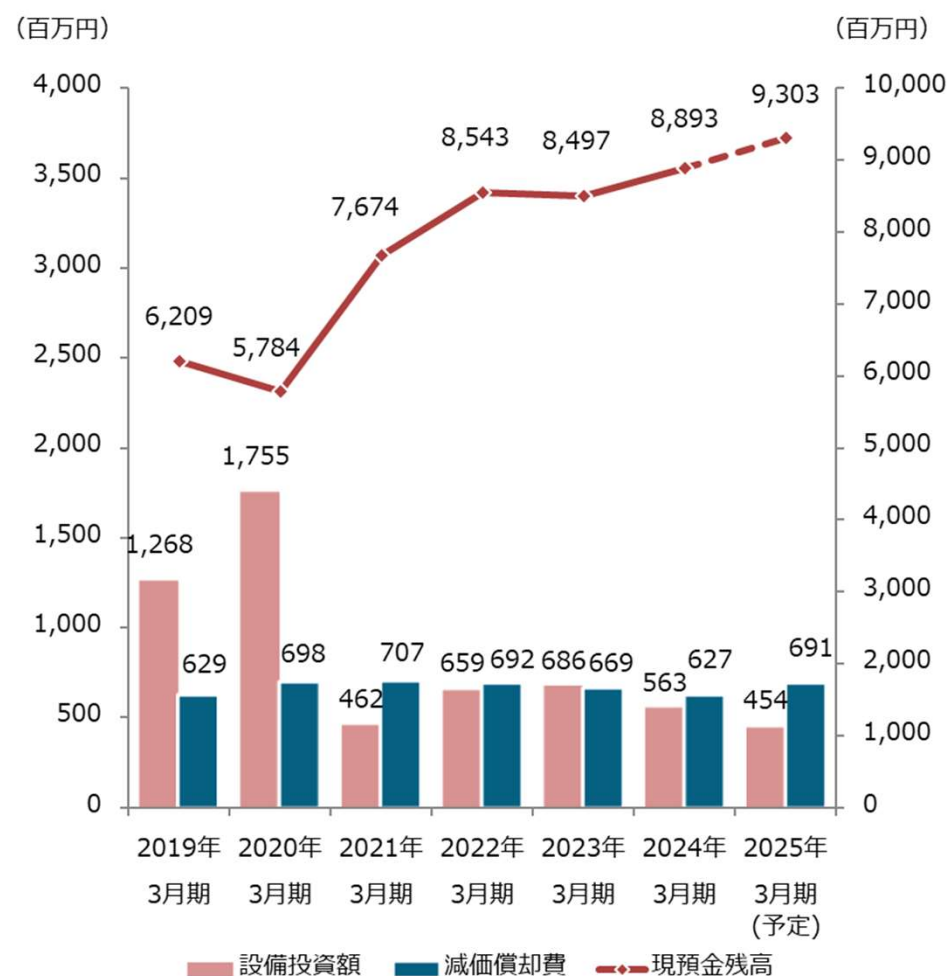
# 業績予想

(単位：百万円)	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	9,040	9,430	+4.3%
営業利益	1,867	1,730	-7.4%
経常利益	1,908	1,740	-8.8%
当期純利益	1,320	1,190	-9.9%
設備投資額	563	454	-19.3%
減価償却費	627	691	+10.2%
EPS (円)	53.03	47.89	-9.7%
1株当たり配当金 (円)	27.50	30.00	+9.1%

- 自動車関連は供給制約の解消により生産台数の回復が本格化すると見込まれ、新規モデル開発による金型や部品向け工具需要の増加が期待される。半導体・電子部品関連は完成品の需要減退による在庫調整は一巡し、徐々に回復してゆくものと予想される。
- 市況の回復や新製品の発売等から、売上は若干増加を見込むものの、電力費や新規設備稼働による減価償却費、賃上げによる人件費の上昇により、営業利益、経常利益ともに減益を予想。
- 設備投資は、主に継続的な生産設備の更新等を実施予定。設備投資額は前期比19.3%減の予定。
- 1株当たり配当金は、中間配当金15.0円、期末配当金15.0円の年間配当金30.0円と増配予定。

# 設備投資と減価償却費のトレンド

設備投資、減価償却費及び現預金残高の推移



(左軸：設備投資額・減価償却費、右軸：現預金残高)

## 設備投資増減要因

### 2020年3月期

新開発センターの竣工や開発関連設備の導入、子会社工場の新棟建設及び継続的な生産設備の更新等により増加。

### 2021年3月期

稼働率の低下もあり、一部設備の導入を次期に繰越したことから当初計画に比べ減少。

### 2023年3月期

主に生産設備の増強等を実施。設備導入が一部次期にずれ込み、期初計画より減少。

### 2024年3月期

生産設備の増強を予定していたが、設備計画の繰り越しもあり減少。

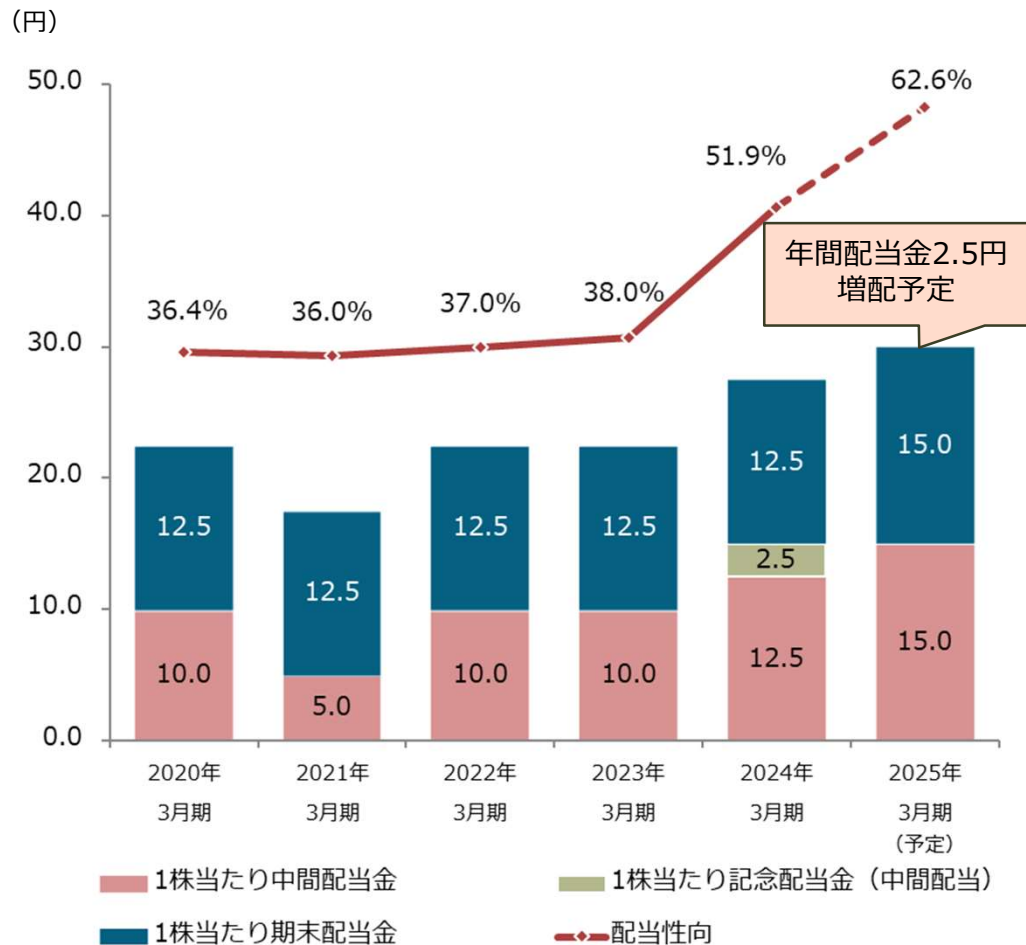
### 2025年3月期計画

継続的な生産設備の更新を予定。前期繰越分の設備稼働により減価償却費は増加する見込み。



# 配当予想（株主還元について）

## 1株当たり配当金と配当性向の推移



## 安定性・継続性に配慮しつつ

### 業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2024年3月期の1株当たり年間配当金は27.5円を予定。  
創業70周年目を迎えるにあたり2.5円の記念配当を実施  
中間配当金15.0円（普通配当12.5円、記念配当2.5円）  
期末配当金12.5円  
業績に対する配当性向は51.9%
- 2025年3月期の1株当たり年間配当金は、手元流動性が増加しており、株主還元強化のため30.0円に増配予定。  
中間配当金15.0円  
期末配当金15.0円  
業績予想に対する配当性向は62.6%

- 株主優待  
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、  
1単元（100株）以上を3年以上保有（※）されている  
株主様を対象にオリジナルクオカード2,000円分を贈呈。

※3年以上保有とは、株主名簿基準日（3月31日及び9月30日）の株主名簿に7回以上連続して、同一株主番号で100株以上の保有記録が記載または記録されることをいいます

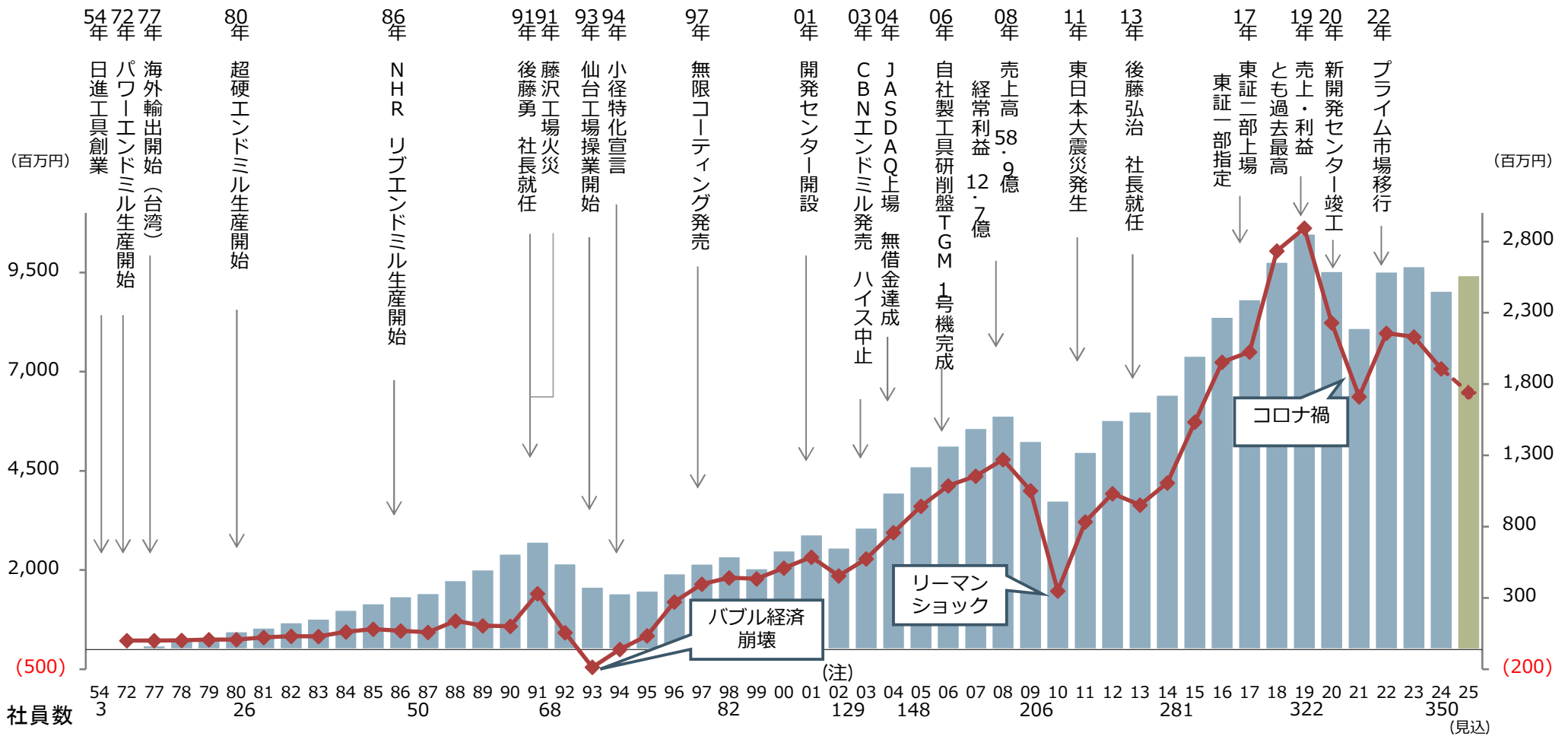
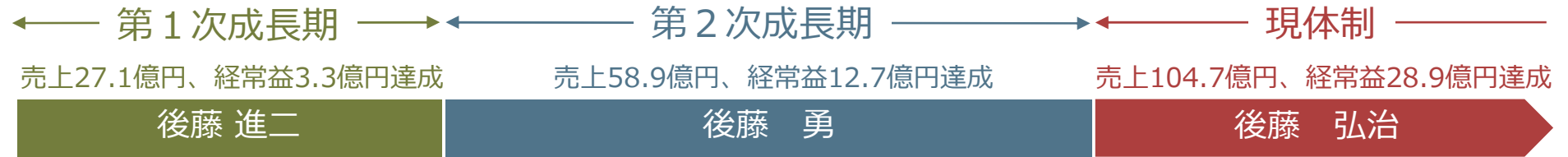
## 參考資料



## 日進工具の概要 (2024年3月31日現在)

商号	日進工具株式会社 (NS TOOL CO.,LTD.)
創業	1954年(昭和29年)12月
本社	東京都品川区大井1-28-1 住友不動産大井町駅前ビル6F
資本金	4億5,533万円
代表者	代表取締役社長 後藤 弘治
従業員数	単体:224名、連結:350名
事業内容	超硬エンドミル(切削工具)の製造・販売

# 沿革・業績推移



## 当社製品（超硬エンドミル）について

エンドミルとは、外周部と底部に切れ刃を設け、工作機械（マシニングセンタ）に取付け回転させることにより、金属等の加工を行う切削工具の一種。

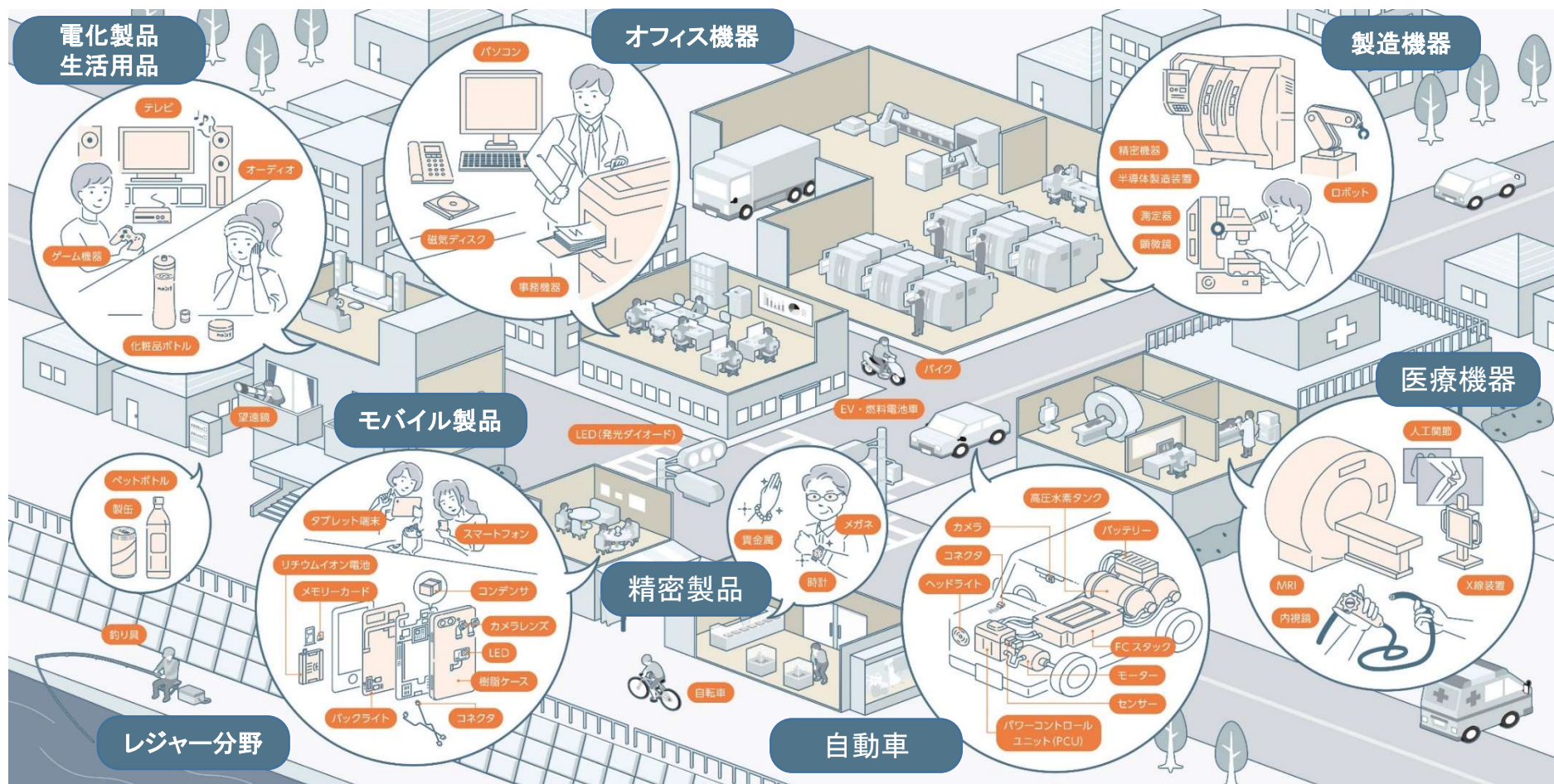
従来はハイス（高速度工具鋼）製が主体であった。

ハイスより硬い超硬合金（炭化タングステンとコバルトの焼結体）を使ったものが超硬エンドミル。



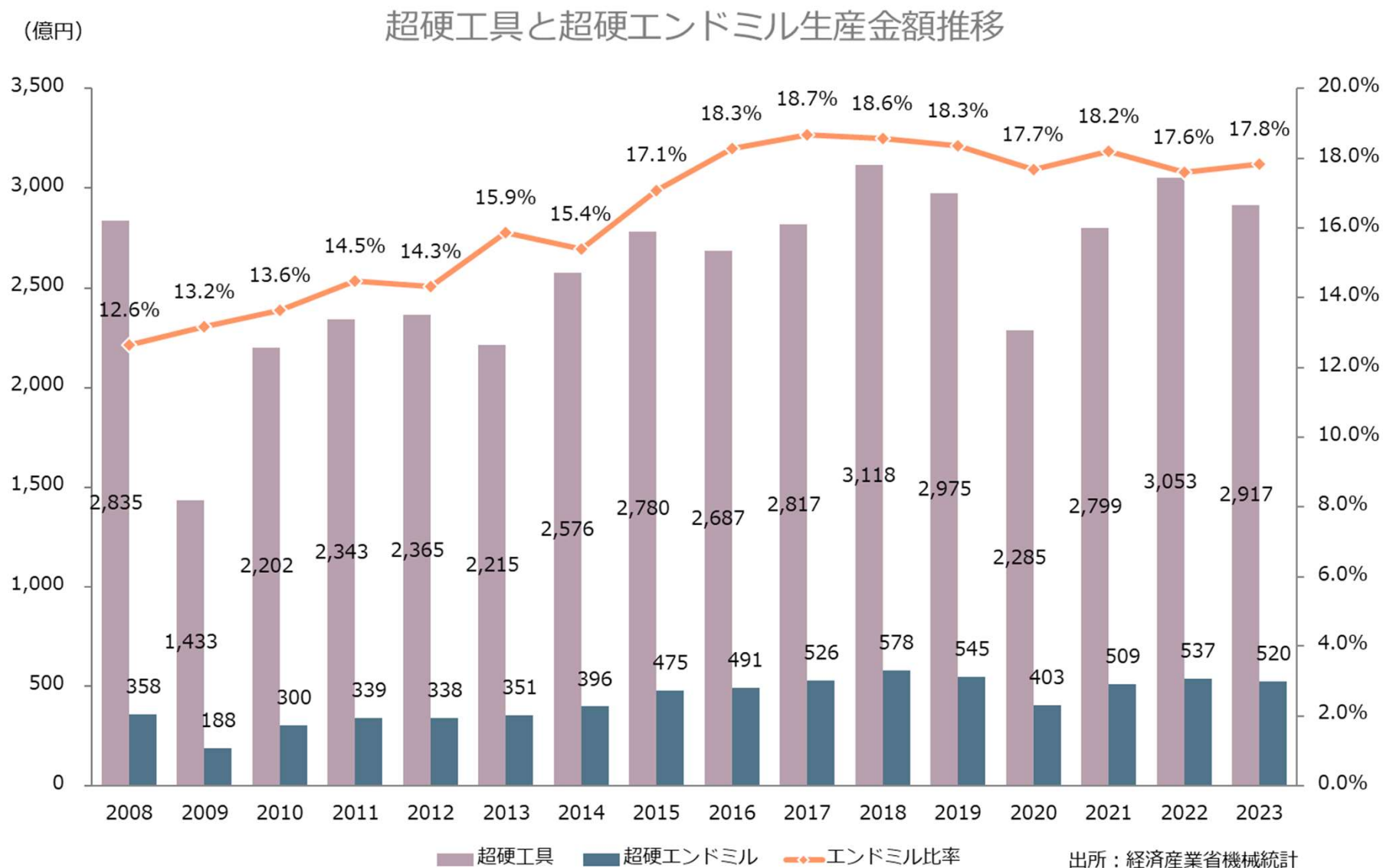
# 超硬エンドミルの用途

超硬エンドミルは、金型や金属部品等の切削加工に用いられる。  
 当社では、刃先の直径が6mm以下となる小径エンドミルに特化しており、  
 主に高い精度が要求される精密金型や微細部品等の加工に使用されている。





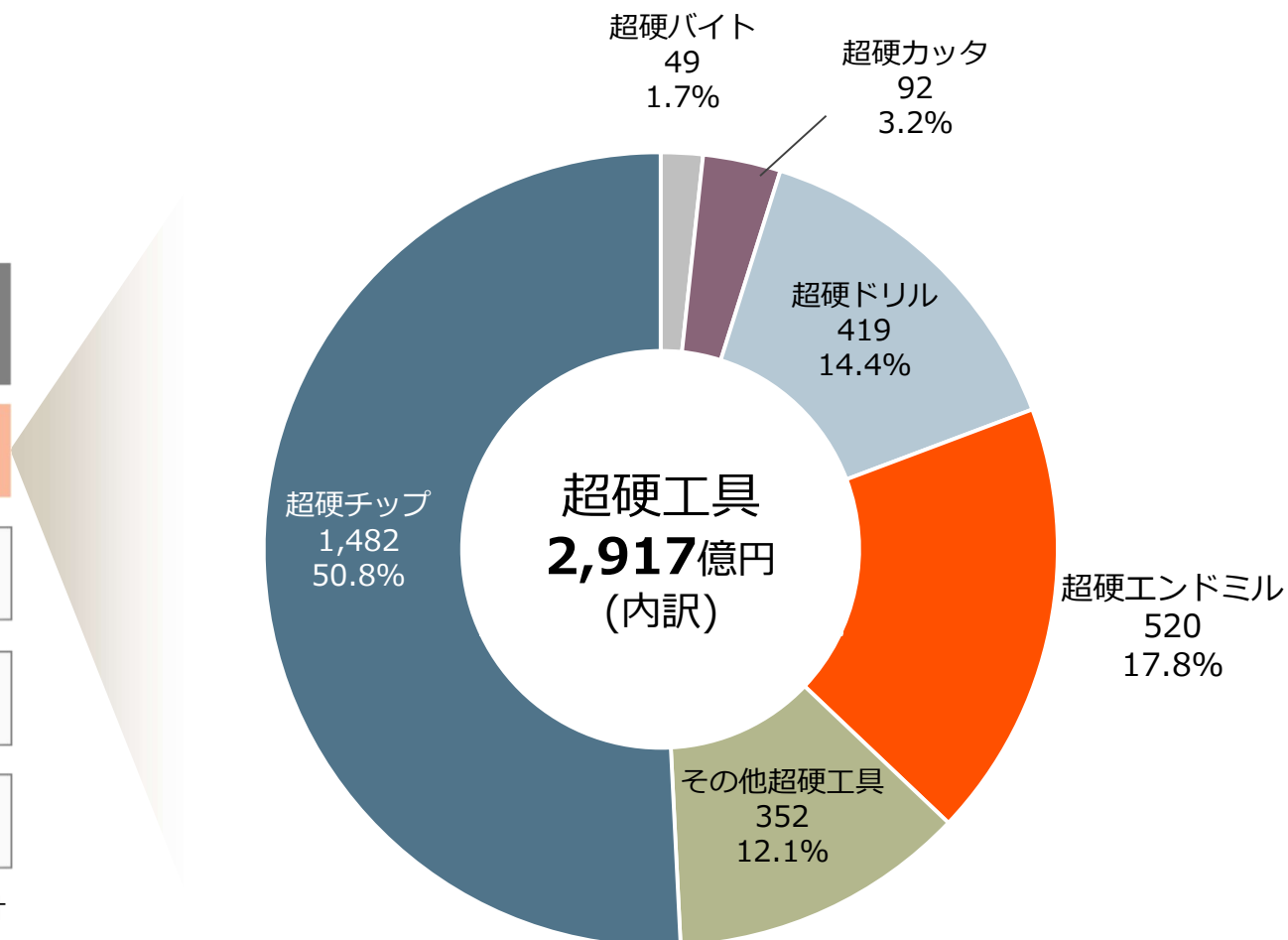
# 超硬工具と超硬エンドミル市場推移 (暦年)



# 超硬エンドミル市場の概況

機械工具生産金額 (2023年) 総額	4,620億円
超硬工具	2,917億円(63.2%)
C(W)BN工具	276億円( 6.0%)
ダイヤモンド工具	620億円(13.4%)
特殊鋼切削工具	805億円(17.4%)

出所：経済産業省機械統計



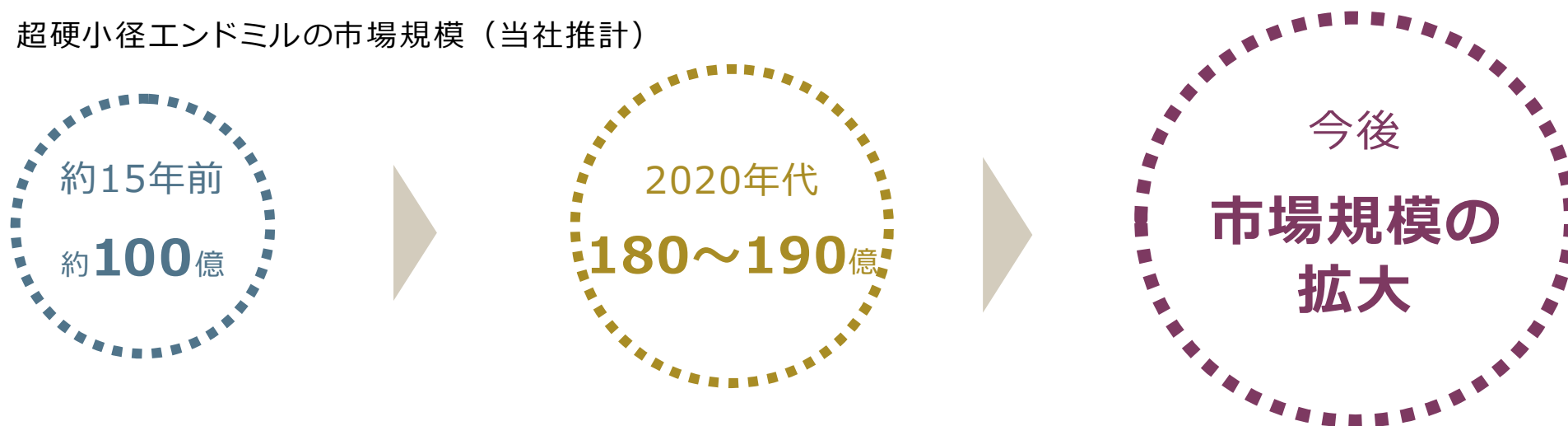


## 今後の超硬小径エンドミル市場

超硬小径エンドミル※の市場規模は、家電のデジタル化や携帯電話の登場により急拡大し、スマートフォンの普及、自動車の運転支援機能の高度化等からさらに広がりを見せた。現在は生成AIを中心にデジタルトランスフォーメーション（DX）が確実に拡大しており、今後も様々な製品に小型電子部品の採用は増えるとみられる。また、自動車産業においては電気自動車（EV）だけでなくハイブリッド自動車（HV）や燃料電池自動車（FCV）の需要の高まりが期待され、それらの生産に欠かせない超硬小径エンドミルの需要は中期的には堅調に推移するものと予想される。

※ 当社では「小径＝刃径6mm以下」と定義している

超硬小径エンドミルの市場規模（当社推計）



# 日進工具 3つの強み



01

## 生産力

高品質製品を安定的に供給

自社開発機による自動化の推進  
他社が追随できない生産性を誇る

高付加価値に特化



03

## 販売力

小径エンドミルではトップクラスのシェア

精密・微細加工を主とした加工技術提案  
海外でも認知度がアップ



02

## 開発力

**超** モノづくり部品大賞等を受賞

高付加価値・次世代製品への取り組み  
カギは製品の高精度化と長寿命化

### 財務体質

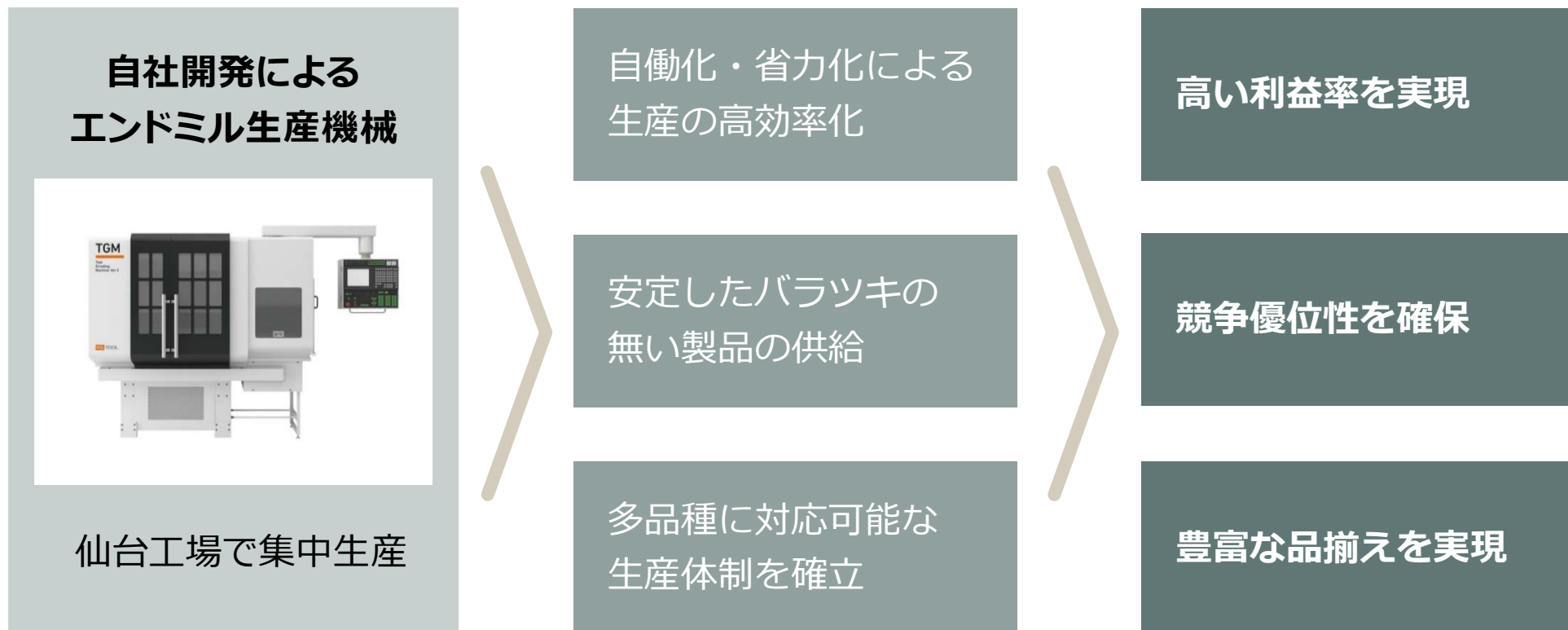
### 強固な財務基盤と高い収益力

有利子負債 ゼロ

経常利益率 21.1%

(2024/3期)

## 自社開発機による自動化（圧倒的な差別化）



※当社では、作業は機械に任せても、「人」の発想こそがモノづくりを支えると考え、自働と表記しております。

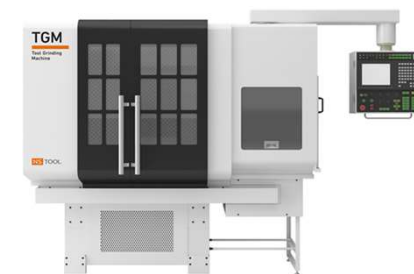
# 他社との「違い」を追求

# 日進工具のサステナビリティ

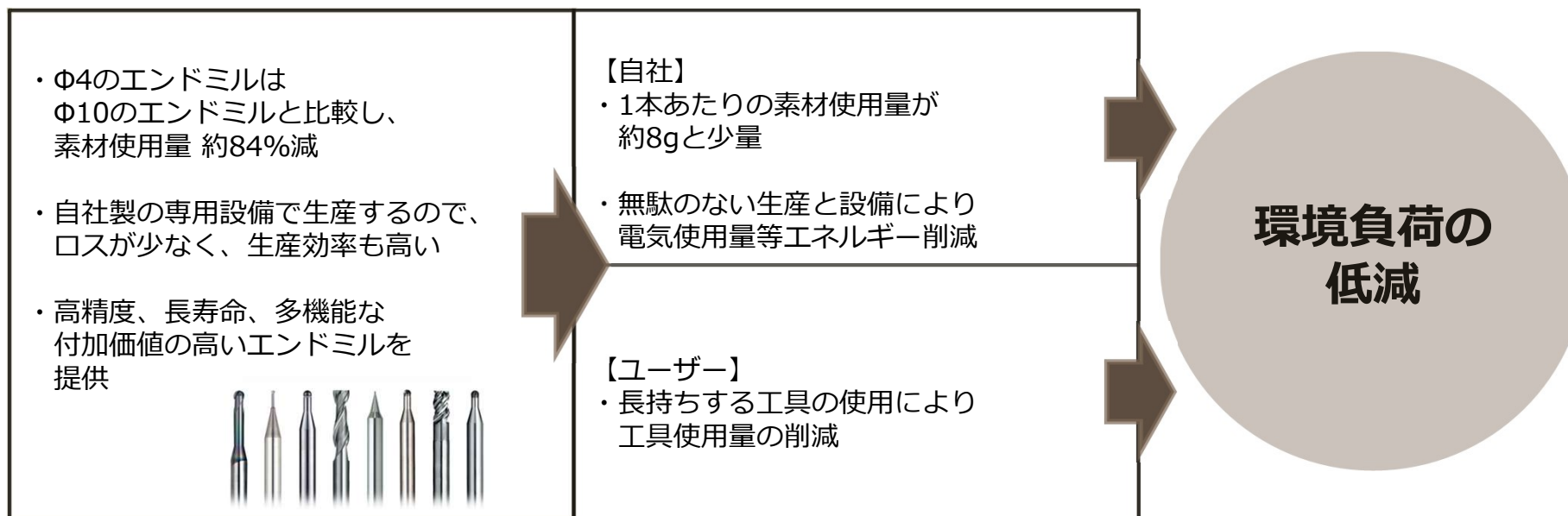
「人と地球にやさしい製品を、最小限の資源でつくり、環境負荷の低減に努めます。」

小径工具に特化

省資源化



自社開発のエンドミル生産機械



事業活動においては・・・

- ・最小限の資源を最大限有効活用することに努めます。
- ・使用済製品のリユースやリサイクル、リデュースの推進など、環境保全を重視した取り組みを実行して参ります。

# 新製品 MLFH330、AL3D-345R 発売

高能率レンズ形3枚刃エンドミル MLFH330	アルミ用高能率ラジアスエンドミル 3枚刃3倍刃長 AL3D-345R
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>MLFH330</p> <p>レンズ形とすることで 大きな半径となる ↓ 大きく削れる</p>  <p><math>\phi 6 \times R8</math></p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>2枚刃ボールエンドミル (従来品)</p>  <p><math>\phi 6 \times R3</math></p> </div> </div>	
<p>先端に<b>レンズ形の形状</b>を採用した<b>3枚刃</b>とし、 加工能率と切り込み量が向上 従来の2枚刃ボールエンドミルと比較し、 加工時間が<b>40%減少</b></p>	<p>特殊な形状の外周刃で高速条件でも びびり振動を抑制し<b>安定した加工</b>を実現 突込み加工に適した底刃と3枚刃で 加工時間を短縮</p>



MLFH330と従来のボールエンドミルとの加工比較の映像は  
二次元コードまたは<https://youtu.be/U34j57dj0x0>?より視聴可能です



# コーポレートガバナンスの体制 (2024年3月31日現在)

形態	監査等委員会設置会社
取締役の人数	10名
うち、監査等委員	6名
うち、社外取締役の人数	4名
社外取締役のうち独立役員	4名
任意の委員会	指名・報酬委員会 (社外取締役2名、社内取締役1名で構成)
取締役の任期	1年 (監査等委員は2年)
取締役へのインセンティブ付与	株式報酬制度・業績連動賞与 (監査等委員は除く)
執行役員制度	有 (現在3名)
会計監査人	監査法人A&Aパートナーズ

# グループ会社（連結子会社）の概要 （2024年3月31日現在）

## 株式会社ジーテック

所在地

東京都品川区

事業内容

当社製品の販売



## 株式会社日進エンジニアリング

所在地

本社：宮城県黒川郡大和町  
新潟工場：新潟県魚沼市

事業内容

コーティング加工、再研磨、  
超硬エンドミルの受託加工（刃径6mm超の製品）



## 株式会社牧野工業

所在地

福島県白河市

事業内容

工具ケースを主力としたプラスチック成形品の製造・販売



## NS TOOL HONG KONG LIMITED

（日進工具香港有限公司）

所在地

中華人民共和国香港特別行政区

事業内容

当社製品の販売（香港・中国）



## NS TOOL USA, INC.

所在地

アメリカ合衆国ミシガン州  
ロチェスターヒルズ

事業内容

当社製品の販売（米国）

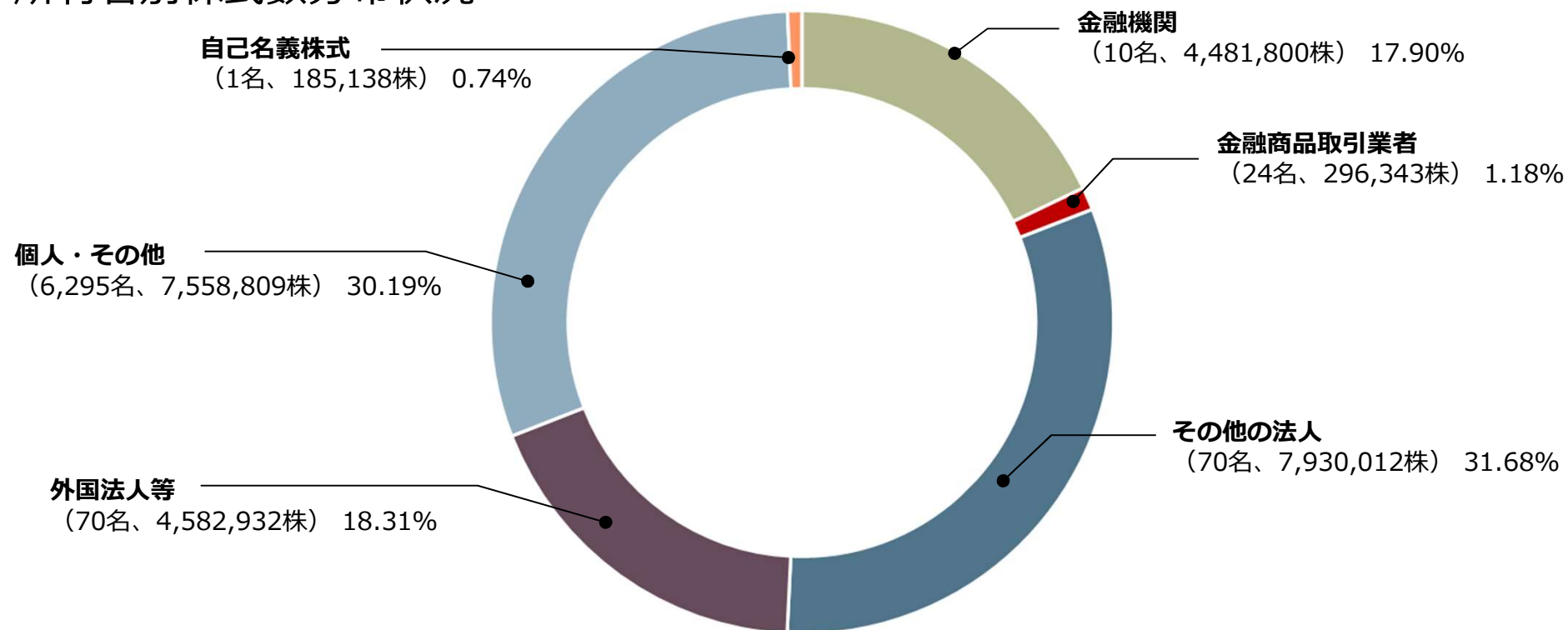




# 株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	38,400,000株
発行済株式総数	25,035,034株
株主数	6,470名

## 所有者別株式数分布状況



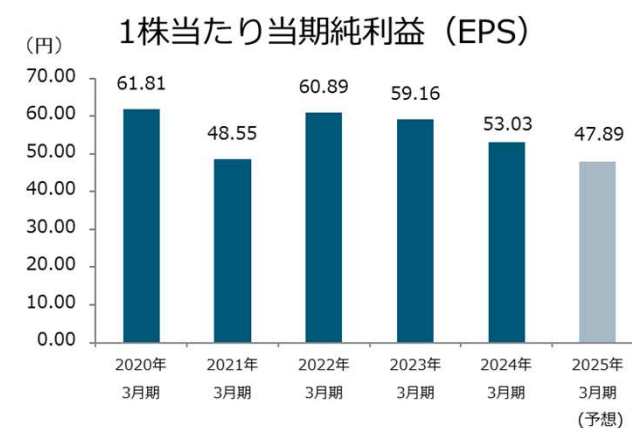
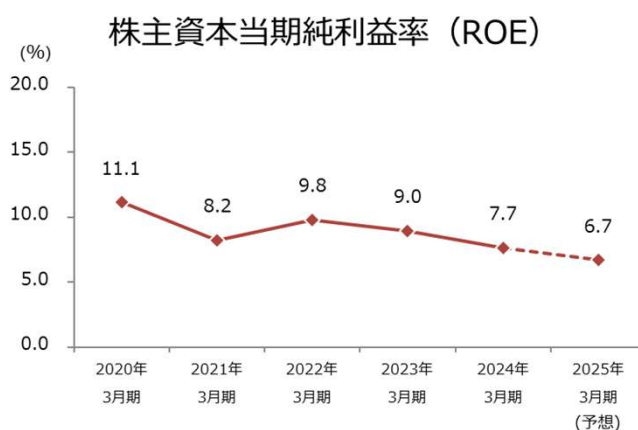


## 過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期実績
売上高	9,531	8,100	9,524	9,656	9,040
営業利益	2,219	1,512	2,111	2,108	1,867
営業利益率	23.3%	18.7%	22.2%	21.8%	20.7%
経常利益	2,231	1,712	2,156	2,131	1,908
経常利益率	23.4%	21.1%	22.6%	22.1%	21.1%
当期純利益	1,545	1,214	1,522	1,475	1,320
当期純利益率	16.2%	15.0%	16.0%	15.3%	14.6%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	14,498	15,326	16,165	17,200	17,729
総資産額	16,017	16,936	17,874	18,857	19,241
自己資本比率	89.7%	89.4%	89.2%	90.1%	91.1%
設備投資額	1,755	462	659	686	563
減価償却費	698	707	692	669	627
1株当たり配当金 (円)	22.50	17.50	22.50	22.50	27.50
従業員数 (人)	338	339	348	352	350

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

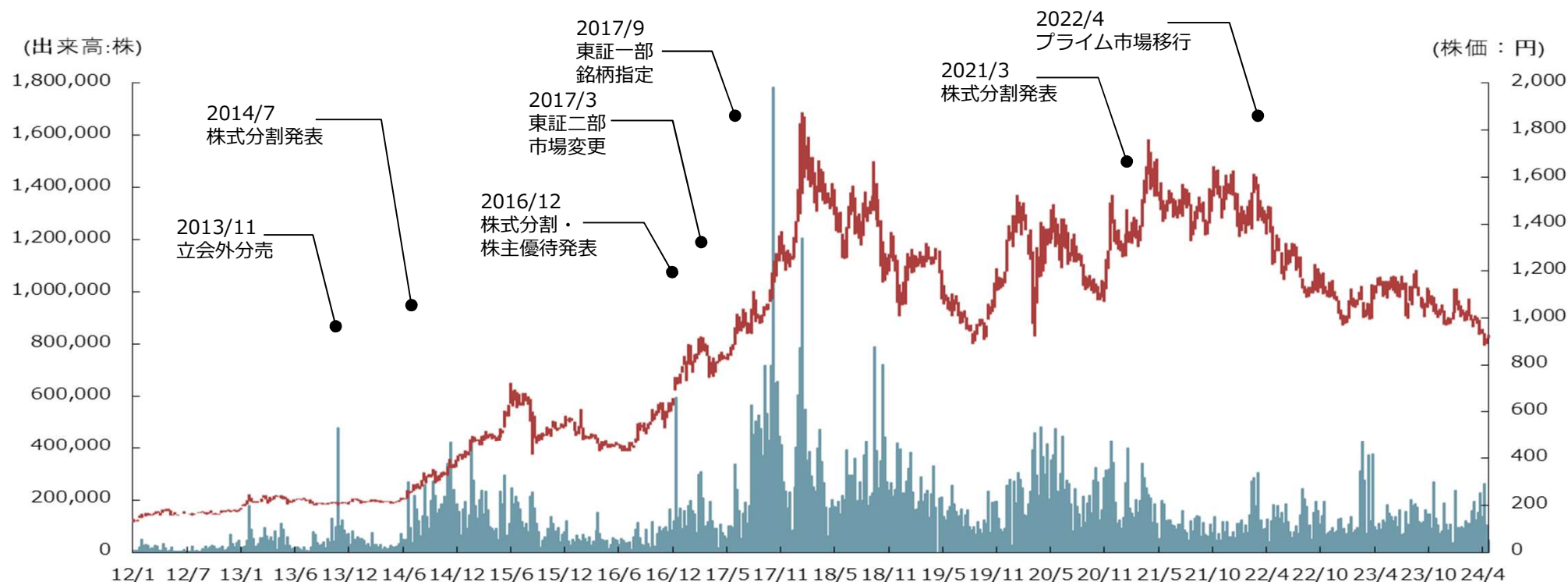
# 投資指標



※ 2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

# 株価推移とバリュエーション

## 週足ベース株価推移（2012年1月～2024年5月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

## バリュエーション（2024年5月9日現在）

売買単位	100株
時価総額	232億円
ROE (24/3期実績)	7.7%

単元株価格	9万3,000円
PER (25/3期予想)	19.42
PBR (24/3期実績)	1.32倍

# IR情報サイト／ニュースメール登録のご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR information website. The top navigation bar includes '製品情報', '事例・技術情報', '会社情報', '採用情報', and 'IR情報' (highlighted in orange). Below the navigation is a header section with 'Investor Relations' and 'IR情報' (highlighted in orange). The main content area is divided into two columns. The left column features 'IRトピックス' and 'IRニュース' sections. The right column features 'IR情報' and 'IRニュース' sections. Callout lines point to the 'IRトピックス' section, the 'IR情報' menu item, the 'IRトピックス' section, the 'IRニュース' section, and the 'IRニュースメール登録' link in the right sidebar.

## IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

## メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

## IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>



当社の適時開示情報・IR情報をタイムリーに受け取ることができます。

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

## お問い合わせ

# 日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼管理部長	戸田	覚
管理部	経理課長	佐原	大樹
管理部	I R担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135  
FAX : 03-6423-1186  
E-mail : [ir@ns-tool.com](mailto:ir@ns-tool.com)

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、  
確約や保証を与えるものではありません。  
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。